

焼き付き油用洗浄剤(浸漬タイプ)

ハクリスト04

ハクリスト04は、有害な塩素系溶剤（塩化メチレン等）やP R T R法や労働安全衛生法（通知対象物質）に該当する成分を含有しない安全性の高い洗浄剤です。

ハクリスト04は、金属に固着し炭化した油を常温で取り除く事が出来ます。
しかも低臭で刺激性も殆どないので安心して作業して頂けます。

用 途

- ・ 金属（アルミ・鉄・ステンレス等）に付着した焼き付き油の除去
- ・ 自動車、オートバイ等のピストンや燃焼室に付着したカーボン汚れの除去

特 長

- ・ 常温でも加温でも使用出来ます。
- ・ 金属への腐食性は殆ど有りません。
- ・ 危険な苛性アルカリや塩素系溶剤、第2種有機溶剤、フェノール等は一切含まれていません。
- ・ 有機溶剤中毒予防規則・毒劇物取締法・P R T R法・労働安全衛生法の通知対象物質等に該当しない安全性の高い洗浄剤です。

使用方法

1. ハクリスト04は、原液のまま洗浄槽に仕込み、被洗浄物を浸漬して下さい。
※槽の材質はステンレス、ポリエチレン、ポリプロピレンを推奨します。
2. 浸漬し、油が軟化又は溶解するのを待って引き上げ後、ナイロンタワシ等で擦り、ウエスを
用い拭き取って下さい。
3. 処理時間を短縮したい場合、加温（70℃位まで）または、超音波を併用すると効果的です。

性 状

| | |
|-----------|------------|
| 外 観 | 無色透明液体 |
| 臭 い | 弱い芳香臭 |
| 比 重 (15℃) | 1.004 |
| p H | 12~13 |
| 沸 点 範 囲 | 100~230℃ |
| 引火点 (COC) | 116℃ (COC) |

【組 成】

グリコール系溶剤
アルコール系溶剤
アルコール系変性溶剤

【荷 姿】

18ℓ アトロン缶

FN 220331 1/6

〔製造元〕

 **クスノキ化学株式会社**

本 社 大阪府富田林市若松町東 1-205
TEL 0721-26-2271 (代表)
FAX 0721-26-2273

〔販 売〕

 **菱江化学株式会社**
RYOKO CHEMICAL

本 社 東京都中央区日本橋本町 4-12-20 PMO 日本橋本町ビル
TEL 03-6861-0054
FAX 03-6861-0034

取扱説明書

| | |
|--------|--|
| 製 品 名 | ハクリスト04 |
| 危 険 性 | ・可燃性があるので、火気に注意する。 |
| 有 害 性 | ・眼を刺激し、炎症を起こす事がある。 皮膚から吸収され、皮膚炎や表皮の剥離を生ずる事がある。 |
| 取扱上の注意 | ・換気の良い場所で取扱う。 蒸気またはミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い中は吸入、目や皮膚への接触を防ぐため、 保護メガネ等 適切な保護具を使用する。 取扱い時には、必ず不浸透性（ ポリエチレン、ポリプロピレン、シリコンゴム等の材質 ）の手袋を着用する。 取扱い後に手、顔等をよく洗い、うがいをする。 |
| 火災時の処置 | ・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 呼吸保護具等適切な保護具を状況に応じ着用する。 有効な消火剤：炭酸ガス、粉末、泡、粉末消火剤 |
| 漏出時の処置 | ・大量の場合、おが屑、土砂等を混ぜ、スコップ等で空容器に回収する。 少量の場合は、ウエス等で拭き取る。 河川等に排出されないように注意する。 |
| 保管上の注意 | ・容器は直射日光を避けて貯蔵し、密栓して、空気との接触を避ける。 酸化性物質や過酸化物類と同一場所に保管してはならない。 |
| 応急処置 | <眼に入った場合> 直ちに多量の水で15分以上洗眼し、直ちに眼科医の手当を受ける。 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々までよく行きわたるように洗浄する。 <皮膚に付着した場合> 汚染した衣服、靴等を速やかに脱ぐ。触れた部位を多量の水で洗い流す。 外観に変化が有るか、痛みが続く場合は、医師の手当を受ける。 <吸入した場合> 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気の場合に移動し、身体を毛布等で覆い保温して安静に保ち、医師の手当を受ける。 <飲み込んだ場合> 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。 |
| 廃棄上の注意 | ・廃棄する場合は焼却によって行う。少量の場合には、ウエス等で拭き取って焼却。それ以外の場合には、少量ずつ焼却処分する。 |
| そ の 他 | ・記載内容は現時点で入手できた資料、情報等に基づいて作成されています。 新しい知見によって内容が改定される事があります。 又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。 |



1. 洗浄前



4. 浸漬後 1時間経過



2. ハクリスト04に浸漬直後

- ・ 浸漬と同時に油分が溶け出す。
- ・ 液温10℃



5. 浸漬後 33時間経過



3. 浸漬後30分経過

- ・ 油分が溶出して、ハクリスト04が茶色くなった。



6. 拡大

- ・ 油分はほとんど除去されている。
- ・ 素材に対しての影響は見られない。

ハクリスト04による洗浄例



ハクリスト04の素材に対する影響

ハクリスト04は、アルカリ性洗剤で金属に対しては殆ど影響を与えませんが、ある種の金属（アルカリ腐食金属）は長時間の接触により変色を起こす事があります。

樹脂やゴムに対しても材質によって、膨潤もしくは溶解等の影響を与える事があるので洗剤としての適性や洗剤装置等を決定される際は、被洗物や洗剤装置等の材質に影響のない事を事前に確認して下さい。

1. 金属に対する影響

①試験方法

ハクリスト04に試験板（30mm×20mm）を浸漬（30℃×24Hr）後、水洗し、乾燥させてから外観判定と重量測定を行った。

②評価方法

外観と重量測定結果の評価は以下の基準で表示した。

〔外観の表示基準〕

○：錆の発生や変色がない。

△：わずかに変色がある。

×：錆の発生や変色がある。

〔重量変化の表示基準〕

○：重量変化率±1%未満

△：重量変化率±1%以上±5%未満

×：重量変化率±5%以上

③結果

| 材 質 | 外 観 | 重量変化 |
|--------|-----|------|
| 鉄 | ○ | ○ |
| アルミニウム | ○ | ○ |
| SUS430 | ○ | ○ |
| SUS304 | ○ | ○ |
| 真鍮 | ○ | ○ |
| 銅 | △ | ○ |
| トタン | △ | △ |

2. 樹脂に対する影響

①試験方法

ハクリスト04に試験板（30mm×20mm）を浸漬（30℃×24Hr）後、水洗し、乾燥させてから外観判定と重量測定を行った。

②評価方法

外観と重量測定結果の評価は以下の基準で表示した。

〔外観の表示基準〕

- ：膨潤、溶解、白化等がない。
- △：膨潤、溶解、白化等はないがわずかに変形。
- ×：膨潤、溶解、白化等有り。

〔重量変化の表示基準〕

- ：重量変化率±1%未満
- △：重量変化率±1%以上±5%未満
- ×：重量変化率±5%以上

③結果

| 材 質 | 外 観 | 重量変化 |
|---------|-----|------|
| 硬質塩化ビニル | △ | ○ |
| アクリル | △ | ○ |
| ポリプロピレン | ○ | ○ |